

活動紹介

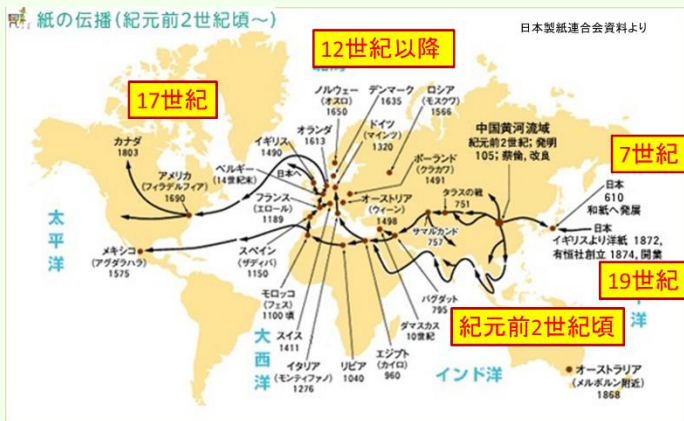
NPO 法人千葉県森林インストラクター会

| | | | |
|------|--|-------|-----|
| 講座名 | 緑を楽しむ講座・千葉 「2023 紙を訪ねて2千年 ～たかが紙されど紙。歴史と環境問題～」 | | |
| 開催日時 | 2023年10月5日(木) 9時30分～11時45分 | | |
| 開催場所 | 千葉市 市民会館会議室 | 一般参加者 | 22名 |

活動概要

紙の歴史は紀元前から始まっており、その歴史はその時々の文明と共に発展してきました。今回は、その2千年を超える歴史と、現在の環境問題について勉強しました。

「文明の要素」の一つとして“文字の使用”があり、そして、その文字情報伝える手段(メディア)として紙が紀元前2世紀頃中国で発明されました。



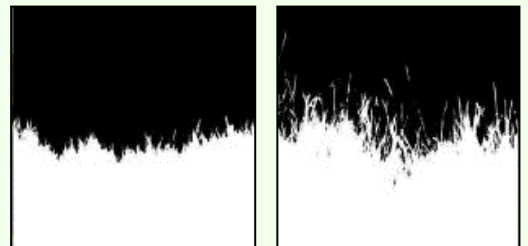
日本に伝わったのが、610年に高句麗の僧曇徴が持ち込んだとされていますが、現在では、懐疑的で、それ以前(4世紀～5世紀頃?)から日本には伝わっていた様です。中国から西に向かっては、ヨーロッパへは12世紀にやっとスペインに伝わったのが最初で、アメリカ大陸に渡ったのが17世紀に入ってから。何故そんなに時間が掛かったのかを学びました。



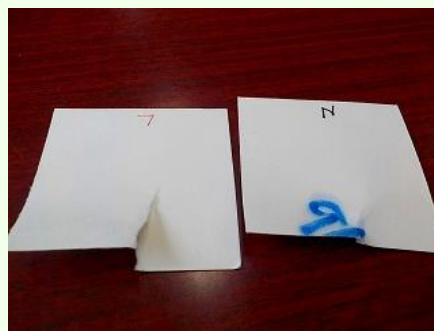
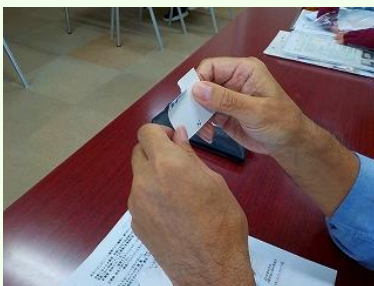
クワ科コウゾ

そして、紙の原料についても学び、大麻からボロを経て木材へと変転し、和紙ではコウゾ・ガンピ・ミツマタ、洋紙では針葉樹と広葉樹などそれぞれの特性による用途があり、針葉樹と広葉樹についてはそれぞれのサンプルを千切って違いを実感して、それが紙の分別回収へと繋がっているのです。

今日はたった半日で2千年の世界史と日本史、そして紙について勉強しました。



洋紙の切断面を拡大
(左は広葉樹、右が針葉樹)



F I C 講師：板倉完次